

—東日本大震災津波復興事業費の被災地負担問題で調査—



6/5 達増知事と懇談



6/6 戸羽市長と懇談

6月5、6日にかけて日本共産党の小池副委員長・参院議員、畠山和也衆院議員、高橋ちづ子衆院議員(6日参加)ら国会議員調査団は、東日本大震災復興事業で政府が2016年度から被災自治体に負担を求めようとしていることについて岩手県知事、釜石市長、陸前高田市長、石巻市長と意見交換・懇談を行いました。斉藤信・高田一郎岩手県議、三浦一敏宮城県議、石巻市議団も同席しました。

達増拓也岩手県知事は、国が全額負担から方針を転換したことについて「地元負担を導入する根拠はない」と政府の姿勢を批判しました。戸羽太陸前高田市長



6/6 亀山市長と懇談

は「住居整備は全額国負担で」、亀山綾石巻市長は「被災地負担は理不尽」と訴え。小池議員は「国が最後まで責任を持つよう徹底的に求めたい」と応じました。

いわぶち友 参院比例候補 東北、北海道を駆け走る!



5/12 石狩市議選で応援演説 2から3議席へ前進する



6/3 原発賠償打ち切り反対など求め政府・東電交渉



5/17 仙台市演説会・青年トーク集会で挨拶

期待の声

「もう絶対国会へ行こう、支持を広げるからね」
「パワーがある、福島の話は身につまされる」



5/22 JAたきかわの工藤正光組合長から激励を受ける

五月に北海道で延べ五日間、多彩な活動



6/7 福島市演説会で挨拶「友ちゃ〜ん」の声援も



5/24 盛岡市 5/31 一関、奥州市、演説会で挨拶

被災3県の選挙—全員当選、議席増を!
6月4日に東北ブロック指導部会議が開かれ水谷選対局長、佐藤選対局次長が出席しました。会議では、いっせい選挙の教訓を交流し岩手、宮城、福島の県議選や県都の市議選を軸に「復興と暮らしを守る」「いっせい選挙の締めくくりとして躍進を勝ち取り、参院選へつなげる」「戦争立法、原発再稼働など安倍暴走政権に審判を下す」を掲げ、東北一丸と党勢の上げ潮で闘う事を確認しました。

3月12日の参院比例候補発表以降、いわぶち友比例候補は活動地域の東北・北海道で精力的な活動を展開。いっせい選挙では県議全選挙区、県都の市議選応援など大奮闘しました。北海道には2度入り、全道地区委員長会議を皮切りに、道県議団、札幌市議団、9つの民主団体、5つの自治体、3つのJA訪問など多彩な活動を展開。

今、被災3県の延長選挙勝利めざす岩手、宮城、福島の演説会や応援に全力投球。パワーある演説は評判になっています。